

吉岡地区タウンミーティング開催報告

【日 時】 令和4年9月15日（木）19：30～21：00 【場 所】 吉岡公民館 2階大会議室

【参加者】 吉岡連合自治会長など全13人 ・ 傍聴1人

市長、公民館長、環境部長、市民生活部長、農林水産部長

【次 第】 1 開会 2 挨拶（吉岡地区連合自治会長）

3 市長挨拶・事業説明（別添資料）

4 意見交換：テーマ「誰もが住みよい吉岡地区をめざして」

5 まとめ・閉会

概 要

【自治会長挨拶】

地域が抱える課題を地域と市が共有し、共に考え話し合い、魅力的で愛着の持てるまちづくりに繋げたい。ざっくばらんな意見を願います。

参加者の発言要旨

市の発言要旨（及び対応）

空き家・空地

近年空き家が増え、地域の中で危険なポイントになりつつある。私有地であり、外部から手を出すことはできない。個人情報観点から、所有者や親戚の住所を教えてもらえない。

通学路の妨げや道路の白線が消えるような状態が増えている。行政としてきちんと対処をお願いします。

廃墟となりそうな空き家を減少させるような施策、市民への広報、更地に戻すための支援などをどのように考えているか。

危険な場合は、市役所に連絡していただきたい。まず、安全の確保をし、所有者へアプローチすることに尽きる。私有地の適正な管理を交渉していく。

市の取り組みとしては、

①空き家管理代行サービス
（シルバー人材センターとの連携）

②空き家バンク制度
（利活用可能な空き家の提供）

③老朽危険空家の除却事業補助金

④ブロック塀等安全対策事業 がある。

当事者になって初めてこれらの制度に触れることが多いが、広く周知していく。

更地にすると、固定資産税の軽減が利かなくなるが、これは国の法制度であり動向を見ていく。

皆さんの方から地域の情報を教えていただくことが多いので、連携を密にしたい。

新たなごみ施策

安定的なごみ処理を目的として令和3年から代表の方が議論し、次の①～③に取り組むべきではないかという答申をいただいた。9月議会に提案しているところ。（⇒可決）

①家庭系ごみ（もえるごみ・もえないごみ・粗大ごみ）の有料化。ごみ袋を1枚目から購入いただく（大45円・中30円・小20円）。金額の根拠は国が策定している「一般廃棄物有料化のてびき」で考慮すべき点として挙げている、(1)ごみの排出抑制と減量が期待できる水準、(2)住民の受容性（アンケート調査結果）、(3)周辺市町の料金水準から1リットル1円とした。販売店舗は市内スーパーマーケットやコンビニを予定している。

現在の指定袋は制度変更後2年間使えるようにする。これについても議論はあるが、ごみの減量を喫緊で取り組まなければならない。一方で、他市の事例では有料化スタート前にごみを大量に出され、処分場も収集業者も対応しきれなくなる。そのため、2年間に散らし、3年目（令和7年度）から本格的に有料とする。

②粗大ごみの戸別回収。現在ごみステーションに出しているものを、事前に申込みいただき、指定された日時に自宅前（車が入らない場合はステーションなど指定した所）まで取りに行く。金額は大900円・中600円・小300円。

③資源ごみ等の拠点回収の場所を追加。回収品目はアルミ缶、スチール缶、新聞紙、雑誌、段ボール、古紙、ペットボトルなどの資源ごみを考えている。危険ごみ（リチウムイオン電池、小型充電式電池など）も回収したい。場所は、本庁、支所、サービスセンター、各公民館（一部除く）など。西条市はリサイクル率が低いので、現在の収集場所も存続させながら、新たに拠点を追加する。

将来的に負担を残さないために、持続的なごみ行政ができるように考えている。

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
既存のごみ袋の使用	
<p>指定袋が有料になることは理解できる。現在使っている袋も含めて、数年前に配られた袋が残っている。今年度の分を使いながら、過去の分を使ったこともある。今後、有料になったときに以前の袋が使えるのかどうか。</p>	<p>余った袋が、ごみになるのではないかという指摘もある。有料化を考える際にいろいろな意見が出た。市としては、市民生活に影響がでないように、令和5年4月から、2年間に限っては既存の袋を使っていたできるようにした。</p>
金額の根拠など	
<p>老人世帯、年金生活者が増えている。既存ごみ袋を2年間使えるとのことだが、2, 3箱が余っている老人世帯もいる。できれば、あと4, 5年は使わせてほしい。</p> <p>老人夫婦で、どちらか一人が亡くなると、その方の生活家具を処分する際に、粗大ごみの大ランクでは、費用を要する。もう少し値段が安くないのか。これは決定事項として、もう検討の余地はないのか。</p> <p>※1箱・・・もえるごみの袋110枚、もえないごみの袋20枚</p>	<p>2年間というのは、盛んな議論をした結果。どこかで線を引かなければならない協議の中で、2年でゆるやかに有料化に移行させたいと審議会で決定した。ご了承いただきたい。</p> <p>議会提案中であるが、少しでも負担がかからないように、考慮して金額を決めた。</p> <p>粗大ごみの金額設定は、個人が道前クリーンセンターに持ち込んだ場合は10kgにつき100円の重量制。形、重さ等でランク分けをしていくが、新施策の金額の根拠は直接搬入の費用に車両費、燃料費、賃金等のかかる費用を算出して、概ね300円が妥当である。高く感じるかもしれないが、本人が持ち込んだ費用とそんなに変わらない設定。道前クリーンセンターに直接搬入（10kgにつき100円）という方法も継続する。</p>
回収頻度の変更	
<p>ごみ袋の有料化はわかるが、もう少し別の方法はないか。</p> <p>例えば、危険物（＝もえないごみ）を吉岡では毎週火曜日に集めているが、回収を2週間に1回に減らすことを考えては。危険物は一般物に比べ、数が少ないと思うので、回収頻度を減らせば、人件費や車両費も削減できるのでは。</p>	<p>収集業者と協議もしており、将来的には頻度が減るかもしれないが、現状は週に1回。</p> <p>全体的なごみ処理にかかる金額は、概算で総額年間11億円。比べてごみ袋、リサイクルごみを売った金額など、収入は7,500万円程度。収支的には全く追いついていない。そんな中で、ごみを減らしていただくことが将来的に一番安定する。</p> <p>有料化によって、ごみ問題への意識を高め、ごみの減量が図られること。草の根活動的だが、大きな目的としては、ごみを減らすことである。</p>
正しい分別方法の周知	
<p>数年前から分別のパフレットが配られなくなった。分別が不十分で、ごみステーションに回収されないごみが残っている。ごみ分別をわかりやすく広報してほしい。</p> <p>もえないごみの中に蛍光灯が入れられていたり、カセットコンロのボンベが缶と一緒に入れられていたりするので、回収されずそのまま置かれている。どこの自治会でも散見され、役員が仕方なく資源ごみの日に出し直している。地域の環境的にもごみステーションに残されているのは情けない。市民への広報がもっと徹底されるように、願います。</p>	<p>初めに渡したものを保存版とし、ウェブ上やアプリでも、見えるようにしているので、紙媒体を少なくさせていただいている。</p> <p>違反ごみは収集業者がシールを貼り、警告するためにも置かせていただいている。出した人が間違えたことを認識すれば解決するが、いつまでも残っているようなら市に連絡をお願いする。各地域で対応に困る場合は、お伺いし、説明させていただく。</p> <p>9月議会で新たなごみ施策が決定すれば、広報紙などで周知していく。予定では2月頃に分別に関する冊子を全戸配布する。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
『ビン』の分別	
<p>今日、一つ残されていた「もえないごみ」を見てみると、シールには『ビン』と書いてあった。別に悪いものは入っていないように見えたが、これはどういう内容か。</p>	<p>ビンは「資源ごみ」として回収している。軽くすすいで、ボックスに入れていただく。全市的にビンが分別されず、もえないごみで出されることが多い。知っていただくためにも、ビンの量が多ければ、回収せず置いている。資源ごみで出すよう周知いただきたい。</p>
<p>ビンの分別に関して、保存版のチラシを見ると、あいまいな表現である。資源ごみ回収時にも「化粧ビン、葉のビンはもえないごみで出すように」と残される。 ガラスやビン関係で、しばしば回収されないことがある。冊子を見直す時は、どちらで出すか困らないように明記してほしい。</p>	<p>飲料用のビンは「資源ごみ」として、無色・茶色・その他で分けて出していただく。化粧品は「もえないごみ」。収集業者が間違えている可能性もあるので、困ったらお知らせいただきたい。 この機会にできるだけわかりやすいように改めていく。</p>
紙媒体での周知	
<p>電子媒体で、公式ラインなどを行っているが、アナログ派でスマホもタブレットも見ない人が何割かはいる。今後もペーパーでの広報をしてもらいたい。</p>	<p>保存するという意味では紙媒体も必要。あいまいな点や判断に迷う点は、意見をいただきながら、より良いものにしていきたい。</p>
移動手段の拡充	
<p>免許返納などで車を運転しない人にとっては、バス停までも遠く、買い物も不便である。移動販売車もいくつか回ってきているが、市で移動手段の補助はないか。</p>	<p>旧西条市域では、バス路線（禎瑞線）がなくなった場合の補完として『よりそいタクシー』の運行を始める。 よりそいタクシーは、一部山間部にも入っており、必要に応じて今後もエリアを拡大しようと考えている。運行日数や便数などについても皆さんの声を寄せていただきながら考えていく。 吉岡地区には、三芳線が通っているが、乗っている人は少なく、乗車率は1.5人/便。移動が困難な人の多くがバス停に行くことが大変で、よりそいタクシーでは自宅まで迎えに行くため、バス停に行くような手間が省かれる。この地域に導入する際には皆さんのところへお話を伺いたい。</p>
野良猫の対策	
<p>エサやりをして、野良猫が近隣でどんどん増えている。どこの地域でも同じようなことがあると思うが、何か市として支援はあるか。</p>	<p>猫を捕まえることはできない。飼い猫も含めマイクロチップを入れて管理をしていく。今後、飼い主の責任の明確化、避妊による猫の数を増やさないための施策を取っていく。</p>
自治会の活性化	
<p>令和元年から7世帯増えている。一方で、自治会を脱退される方もいる。 自治会に入らなければならない要件として何か案はないか。</p>	<p>強制力はないため、繰り返しお願いしていくしかないが、地域で安心して暮らすための公益費のような意味合いもあると思う。ごみステーション利用料のように、自治会に入っていないくても、自治会費とは別に受益に応じた費用を集めるところもあるようだ。</p>
本庁・支所のオンライン対応	
<p>8月から体制が変わり、老人クラブの窓口が本庁に移った。東予老連に関することは今まで、西部支所に対応できたが、本庁に行くのは、距離が長くなり負担である。西部支所と本庁の間でオンライン会議ができないか。本庁まで行かなくても、本庁職員と話せるように、西部支所、丹原、小松でも対応いただきたい。</p>	<p>ごもっともな意見。8月からの再編に合わせて環境を整えているつもりだが、まだできていないのか確認させていただく。本庁と繋いで対応できるようにオンラインを活用していく。 <u>（本庁、西部支所、丹原・小松サービスセンターそれぞれにWeb会議専用機を設置しており、相互に画面を見ながらオンラインで会話できる環境を整えている。必要な場合は窓口の職員へお申し出いただきたい。）</u></p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
その他：県立高校の再編計画	
<p>丹原高校が廃校になると聞いた。小松高校についても定員割れしていると思うが、周桑地区に住む人は通学が不便になり、保護者の負担にもなると思う。できる範囲、説明いただきたい。</p>	<p>高等学校の再編は、愛媛県の高次教育課が主管である。市としては皆様のご意見を愛媛県教委に申し上げていくことになる。 生徒数は減るが、依然1.03倍の競争倍率を求めている。よって、学級数が減るのは必然。各学校で1学級ずつ減らすのか、一つの学校を閉じて形を変えていくのかの選択をしなければならない。 西条市立の小中学校も同様。推測では2035年に児童数60人未満の小学校が8校。複式学級は望ましくないという声もあれば、小規模校で子どもを見てほしいという声もいる。 子どもの教育環境を第一に考え、あるべき姿を追求したい。高校への進学は、普通科の希望が多い一方で、西条市は工業・農業都市の側面がある。同窓生には辛いかもしれないが、子ども達を優先した時により良いスタートを切るための提案と受け止めている。 西条から新居浜、今治の高校に進学する子が一定数いる。これを何とか市内に留められないか。それぞれの学科・学校で魅力ある取り組みをしていく必要がある。</p>
<p>【まとめ】</p> <p><市長> 声を寄せていただきありがたい。全てを汲んで改善できれば良いが、予算のこともある。優先順位をつけながら、住民サービスの向上を図りたい。ごみの問題についても、非常に厳しい場面であるが、将来に向けて覚悟を持って減量に取り組んでまいらる。</p> <p><連合自治会長> 市や吉岡地区の現状、取り組みを話し合えたことは、たいへん有意義だった。本日の話し合いが市の政策に反映されることを期待している。今回のテーマに限らず、吉岡の未来をより良いものにしていくためには、住民の皆さんが考え話し合い、そして動き出すことが重要。自治会も市と連携しながら、皆さんのいろいろな取り組みを後押しできるように励んでまいらる。</p> <p><当日の様子></p>	

